

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 光聖会
施設名	蓮美幼児学園 五月が丘プリメール
報告者（役職）	富澤 雅子（施設長）
住所・連絡先	〒565-0834 大阪府吹田市五月が丘北23-32 千里五月丘ハイツV番館1F
	☎ 06-4864-4152
	E-mail http://koshoki.com

○タイトル（保育計画）

コーナー遊び

○主な助成備品

平均台・トンネル・ままごとセット、キッチンセット・絵本棚・紙芝居他

1. 保育計画策定の目的

蓮美幼児学園が目指す全人教育は、「かしこいあたま、やさしいところ、じょうぶなからだ」というように、知・情・体、三位一体の総合乳児教育に取り組んでいます。昔から、（三つ子の魂、百まで）と言い継がれていますが、そのことが最近の脳生理学によって「脳の発達の著しい乳幼児期に周りの環境から吸収したことは、その子の一生を決定するほどの大きな影響を持つ」と科学的にも解明されてきました。このことから保育室の環境を考え子ども一人一人の芽を育てていくことを目的に計画いたしました。

三位一体の「知」の領域として指先を使うことを重点とし、ビーズの紐とうし、又ブロックなど考え、指先を使い物を作り上げることを目的に巧緻性の知育教材として選びました。「情」の領域としてやさしい心、思いやりの心を育てることに、絵本や紙芝居は欠かせないものです。コーナーあそびとして、また保育の中で絵本、紙芝居を選びました。

「体」の領域として大きな体を作るために体育道具を購入しました。毎日行う体育ローテーションで体のバランスとして平均台、又トンネルは低年齢児も使用できることで選びました。

コーナー遊びを取り入れたのは子ども達の一人一人の個性を伸ばしコーナー遊びを通して三位一体の保育に取り組むことができるからです。

2. 具体的な実施内容

〈巧緻性〉



1歳児が紐通しをしている様子です。集中力も身に付き、紐を通す穴も、年齢によって、また、個々にあわせ、変えています。

〈絵本・紙芝居〉



たくさんの本の中から、大好きな絵本を見つけた時の喜びは、大きいようです。「あった！！」と顔いっぱいに表示しています。毎日保育士に、読んでもらう紙芝居や絵本で豊かな心が育っています。

〈体育あそび〉



身体のバランス、身体能力を高めることに大変効果が得られると感じました。

裸足で行うことにより、足の裏の刺激にもなります。低年齢児にとって、身体を動かすことは、脳を大変刺激します。

毎日行う体育ローテーションでは、主にトンネルをくぐる・フープをジャンプ・平均台を歩く、鉄棒にぶら下がる、など取り組んでいます。

〈ままごと・赤ちゃん人形〉

ままごとなどで友達との関わりをもち、お母さんになりきって赤ちゃん人形をおんぶしたり、抱っこしたり、食事を作り食べさせてあげたりと、興味をもって取り組んでいます。これら、4つのコーナーを作り、個々の興味のあるところで、目的をもって遊んでいます。

3. その成果と評価



〈平均台〉 0歳児は歩行もたどたどしかったのですが、やる気は満々で保育者と一緒に歩いています。1歳児は、自分でしたい気持ちがあり、バランスを崩しながらも最後まで渡りきることが楽しいようです。2歳児はいかに早く歩くことができるか意欲的に渡ろうとがんばっています。



〈トンネル〉中に入ると少し抵抗があった子どもも何回も経験しているうちに中に入り最後の出口までたどり着けるようになりました。トンネルの入り口が混み合うので必ず見守りを付け順番を知らせ怪我やトラブルが起こらないように十分気を付けて行っています。



〈ままごと〉みんなと一緒に遊べるままごとあそびは、低年齢児がみんなの様子を見ながら少しずつ学んでいく遊びです。2歳児が鍋に野菜を入れてコンロにかけるところなど、とても不思議な様子で見えており、次は自分も同じようにして遊んでいます。友だちとの関わり方も学ぶことができ、やり取りが楽しめるようで「どうぞ」「ありがとう」と自然に話しています。とても楽しいようでいつも1時間くらい遊んでいます。



〈絵本〉 自分の思う絵本を探し選んでゆっくりと読んでいます。時には保育者の所に「これ読んで」と持ってきて読んでもらっています。自由に絵本がとれるので自分のお気に入りの本を探すことが楽しい様子です。高さも丁度よいので0歳児もしっかり自分で絵本を出して楽しむことができます。絵本を読んでいる時「これ何？」など会話も弾み楽しそうな様子も見られます。

4. 今後の課題と展望

コーナー遊びにおいて、自分で選ぶ知恵をつけること、いろいろな遊びを通して、手先を使って握り方を考えてみたり、友だちと関わって一緒に遊ぶ楽しさを身に着けていくことができます。遊びの中でやさしさ、譲ること、貸すことなどから、自然に身つけていっています。一人一人の成長を心や体の発達と一緒にバランスよく伸ばしていきたいと思えます。楽しくコーナー遊びができるように配置を工夫して行うようにし、順番に使うことを知らせ、ルールについても学べるようにしたいと思います。

以上